

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立高見	学校	児童数	61
--------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.31	17.78	34.38	37.50	52.41	9.77	141.91	20.58	46.90
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	48.50
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	50.00
女子	15.31	17.45	43.83	34.45	41.72	10.21	131.62	12.17	51.56
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では、男女ともに体力合計点が全国・大阪市平均を下回った。「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目において肯定的に回答する児童の割合は、男子が90.6%で、大阪・全国平均よりも約3%低く、女子は79.3%で全国・大阪市平均よりも約5～6%低い結果となった。習い事で普段から運動をしている児童が多く、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均より約1%多く、大阪市平均より約1%少ない。女子は全国平均より約1%少なく、大阪市平均より約3%少ない結果であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本調査の結果から、体力向上は今後の大きな課題である。「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合は、男女ともに全国・大阪市平均よりも低いため、体力向上に向けて改善していく必要がある。1週間の総運動時間が60分未満の児童の理由では、「運動が好きでないから」と、「運動をする時間がない」の二つに分かれていた。運動以外の習い事をしている児童も多く、体育以外では体を動かす機会が時間的にもないのが現状である。また、「今後どのようなことがあれば、今より体育の学習が楽しくなりますか」の項目で多く回答していたのが「できないことができるようになったら」と、「自分に合ったペースで行うことができれば」であった。このことから、普段の体育の学習の中で「めあて」を持たせ、児童が自分にあった場所で課題に挑戦できるような場の設定やスモールステップなどの工夫を取り入れながら、その日の学習の中で達成感を味わえるようにしていく。体育的行事には積極的に取り組む児童が多い。それらの活動でゴールを持たせながら、積極的に取り組めるよう改善を図っていく。